



○おもてなし

九月二十三日（秋分の日）恒例となった「鮎鯨ウオーク」が開催された。今年も、福祉会館前で、道德のまち笠松

関係者十一般ボランティア二十数名により、お

もてなしの心で訪れる方々をお迎えした。

今年も、テントを二つ用意し、「お茶で一

息」、「作品でふれあう」に加えて「まちの

駅」のコーナーを設けた。早朝より準備

にかかり、昼過ぎから行列本隊が出発す

るまでの約三時間、二百名

ほどの方々をもてなし、ふ

れあい交流ができた。

○作品・お茶でもてなし

作品ふれあいコーナーには、町内六名

の方による作品が展示された。いずれも

自分の思いを生かした力作。紙バンドを

材料にした五重塔や合掌造り家屋などの

模型（黒田保夫氏）、好きな材木を彫り込

んだ仏像彫刻（岡田良春氏）、彫り込んだ

円空仏（伊藤清吾氏）、流木を活かしたオ

ブジェ（澤田正良氏）、端切れを活かした

ウサギ等のちりめん細工（岩井栄・英子氏）。

いずれも素晴らしい作品と好評。

有志の方が作られた大量の緑茶も差し

入れていただいた。透き通る緑とほんの

り甘味にする冷たいお茶。口にすると心

もなごむ。今年も、ボランティア中学生

三名によるお茶の接待も加わり、多くの

方に喜んでいただけた。

○「まちの駅」紹介

紹介コーナーには、「まちの駅」説明パ

おもてなしの心を育む

鮎鯨ウオーク オレンジ日和！

ネル、各  
駅紹介リ  
ーフレッ  
ト、鮎鯨

街道沿い十七駅の紹介地図を準備。まちの

駅長さんやサポーターの方が説明し渡し

ていただいた。初めて「まちの駅」を知

る人も多く、道の駅とのちがいがいなど尋ね

られた。手渡された街道地図を見ながら、

ゴールに向かう人々。

○おもてなしの心を育む

もてなす町民のそれぞれが、お茶・自分

の作品・おもてなしの心などを持ち寄って、

訪れる方々をもてなす。お茶を勧めたり、

作品を紹介したりすることからふれあい

が始まる。お茶を飲み、作品を鑑賞した

り、作品の作り方やまちの駅について尋

ねたりするうちに、人とのつながりが少

しずつ広がっていく。心も和み、心もつな

がる。もてなす人も訪れる人も一つになり、

笠松での一時を楽しんでいた。



福祉会館前のおもてなし会場  
お茶で一息、作品でふれあい、まちの駅を紹介